

2013年度事業報告書

2013年4月1日から2014年3月31日まで

特定非営利活動法人 レッドリボンさっぽろ

1 事業の成果

- ①電話相談、ななかまどprojectや交流会を通じて、HIV陽性者・エイズ患者に対する情報提供、支援ができた。
- ②電話相談を通じて、感染不安を抱える人に情報提供することができた。
- ③ABCキルトを通じて海外のこどもを支援することができた。
- ④講演活動、イベントにブース出展等を通じて、エイズの知識の啓発・共生について伝えることができた。
- ⑤会報や勉強会を通じて会員内外の情報交換や研修をすることができた。

2 事業の実施に関する事項

- (1) 特定非営利活動に係る事業
 - ①HIV感染者・エイズ患者などに対する社会的支援サポート事業
 - ②電話相談事業
 - ③キルトの製作及び海外への送付事業
 - ④エイズ予防等に関する普及啓発事業
 - ⑤その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
①②	エイズ電話相談	毎週火曜	RRS事務所	5人	328人
①②	HIV陽性者電話相談 どさんこLine	月2回	RRS事務所	3人	4人
①	HIV陽性者面談相談 くればー緒	月2回	RRS事務所	4人	1人
①	NPO法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス共催「HIV陽性者交流会in札幌」企画・運営	9月14日	札幌市内公共施設	1人	8人
③	ABCキルト作成	月3～4回	RRS事務所	7人	—
④	はばたき福祉事業団 主催 ちょこっとの愛キャンペーン協力	6月5日	大通三越付近	2人	1000人
④	北海道医療大学「九十九祭」 ブース出展・ステージ発表	6月15日～16日	北海道医療大学	7人	300人
④	市民向けHIV/エイズ基礎講座 主催	7月6日～7日	RRS事務所	2人	12人
④	レインボーマーチ札幌ファイナル ブース出展	9月15日	大通公園	10人	1107人
④	札幌市主催「ゲイ・バイ男性のためのエイズ検査」 企画提案・広報・相談員派遣	9月16日	札幌市中央保健センター	1人	23人
④	WAD（世界エイズデー企画・札幌市からの委託事業）の 広報（ポスター貼りやフライヤーの設置）や当日参加	11月、12月	札幌市内	10人	100人
④	レッドリボンライブ	11月30日	ベニーレーン24	2人	300人
④	幕別高校 エイズ出前授業	12月6日	幕別高校	4人	38人
④	学生団体Girlpedia北海道支部主催 「GIRLS BE AMBITIOUS」 ブース出展	2月2日	札幌市内	2人	50人
④	札幌市エイズ対策推進協議会 出席	2月4日	札幌市内	2人	—
⑤	定期年次総会	4月27日	RRS事務所	15人	—
⑤	講演スタッフ育成講座 実施	7月13日～9月29日	RRS事務所	4人	1人
⑤	電話相談スタッフ育成講座 実施	7月13日～9月21日	RRS事務所	3人	1人
⑤	はばたき福祉事業団北海道支部主催 「HIV陽性者の生活支援研修会」参加	11月2日	旭川市	5人	—
⑤	はばたき福祉事業団北海道支部主催 「北海道HIV情報交換会」参加	3月1日	札幌市内	1人	—
⑤	公益財団法人エイズ予防財団主催 「NGO指導者研修」参加	3月1日～2日	大阪市	1人	—
⑤	会報の発行	年間3回	RRS事務所	2人	240部
⑤	ホームページ・ブログ・メーリングリストの運営・管理	不定期	RRS事務所	1人	—
⑤	オープンハウス事業	毎週木曜	RRS事務所	3人	—
⑤	事務局会議	不定期	RRS事務所	5人	—
⑤	運営会議	月1回	RRS事務所	6人	—

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額 (千円)

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 2 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 3 2の(1)については事業毎に定款の事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数、受益対象者の範囲及び人数並びに支出額をそれぞれ記載する。
- 4 2の(1)のうち「受益対象者の範囲及び人数」の欄には、具体的な受益対象者及び人数を記載する。
- 5 2の(2)については事業毎に定款の事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数及び支出額をそれぞれ記載する。
- 6 事業内容及び支出額は、収支計算書の事業費の科目及び支出額との整合性を図る。